



Cisco ボイスメールパイロットの設定

次のトピックでは、ボイスメールパイロットの設定について説明します。

- 「ボイスメールパイロットの設定値」(P.85-1)
- 「Cisco ボイスメールパイロットの検索」(P.85-3)
- 「ボイスメールパイロット番号の設定」(P.85-4)
- 「ボイスメールパイロット番号の削除」(P.85-4)
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」

ボイスメールパイロットの設定値

ボイスメールパイロット番号は、ユーザが本人のボイスメッセージにアクセスするときにダイヤルする電話番号を指定します。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが電話機のメッセージボタンを押すと自動的にこのボイスメッセージ番号にダイヤルします。各ボイスメールパイロット番号は、異なったボイスメッセージシステムに属することができます。

表 85-1 では、ボイスメール パイロットの設定値について説明します。

表 85-1 ボイスメール パイロットの設定値

フィールド	説明
[ボイスメールパイロット番号 (Voice Mail Pilot Number)]	ボイスメール パイロット番号を識別する番号を入力します。
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、このパイロット番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで指定した数よりも多くのコーリング サーチ スペースが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックして、[コーリングサーチスペースの検索と一覧表示 (Find and List Calling Search Spaces)] ウィンドウを表示します。コーリング サーチ スペース名を検索し、選択します (「コーリング サーチ スペースの検索」(P.54-3) を参照)。</p> <p>(注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[説明 (Description)]	パイロット番号の説明を記述します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、または山カッコ (<>) は使用できません。
[システムのデフォルトボイスメールパイロットに設定 (Make this the default Voice Mail Pilot for the system)]	<p>チェックボックスをオンにして、このパイロット番号をそのシステムのボイスメール パイロットのデフォルトにします。</p> <p>(注) [システムのデフォルトボイスメールパイロットに設定 (Make this the default Voice Mail Pilot for the system)] ボックスをオンにすると、このボイスメール パイロット番号は、現在のデフォルト パイロット番号を置き換えます。</p>

追加情報

「[関連項目](#)」(P.85-5) を参照してください。

Cisco ボイスメールパイロットの検索

ネットワーク内にはいくつかの Cisco ボイスメールパイロットが存在する場合があります。Cisco Unified Communications Manager では、条件を指定して、特定の Cisco ボイスメールパイロットを見つけることができます。Cisco ボイスメールパイロットを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、Cisco ボイスメールパイロットの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、Cisco ボイスメールパイロットの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [拡張機能(Advanced Features)] > [ボイスメール(Voice Mail)] > [ボイスメールパイロット(Voice Mail Pilot)] の順に選択します。

[ボイスメールパイロットの検索と一覧表示(Find and List Voice Mail Pilots)] ウィンドウが表示されます。アクティブな(前回の)クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「**ステップ 3**」に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア(Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索(Find)] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数(Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除(Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択(Select All)] をクリックして [選択項目の削除(Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.85-5)を参照してください。

ボイスメール パイロット番号の設定

ボイスメール パイロット番号を設定する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [拡張機能 (Advanced Features)] > [ボイスメール (Voice Mail)] > [ボイスメールパイロット (Voice Mail Pilot)] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] リンクをクリックします。
- ステップ 3** 該当する設定値を更新します (表 85-1 を参照)。
- ステップ 4** 新規ボイスメール パイロット番号を追加する場合や、既存のボイスメール パイロット番号の設定を更新する場合は、[保存 (Save)] をクリックします。
-

追加情報

「[関連項目](#)」(P.85-5)を参照してください。

ボイスメール パイロット番号の削除

ボイスメール パイロット番号を削除する手順は、次のとおりです。デフォルトまたは [ボイスメールなし (No Voice Mail)] のプロファイル番号は、削除できません。

始める前に

ボイスメール プロファイルが使用するボイスメール パイロット番号は、削除できません。ボイスメール パイロットを使用しているボイスメール プロファイルを検索するには、[ボイスメールパイロットの設定 (Voice Mail Pilot Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスから [依存関係レコード (Dependency Records)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2)を参照してください。使用中のボイスメール パイロットを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager からメッセージが表示されます。現在使用されているボイスメール パイロットを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するボイスメール パイロットを使用しているボイスメール プロファイルすべてに、別のボイスメール パイロットを割り当てます。「[ボイスメール プロファイルの設定](#)」(P.86-4)を参照してください。
- 削除するボイスメール パイロットを使用しているボイスメール プロファイルを削除します。「[ボイスメール プロファイルの削除](#)」(P.86-5)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [拡張機能 (Advanced Features)] > [ボイスメール (Voice Mail)] > [ボイスメールパイロット (Voice Mail Pilot)] の順に選択します。
- ステップ 2** 「Cisco ボイスメールパイロットの検索」(P.85-3) の手順を使用して、ボイスメールパイロットを検索します。
- ステップ 3** 削除する Cisco ボイスメールパイロットをクリックします。
- ステップ 4** [削除 (Delete)] をクリックします。
確認ウィンドウが表示されます。



(注) デフォルトまたは [ボイスメールなし (No Voice Mail)] のパイロット番号を選択した場合、[削除 (Delete)] ボタンは表示されません。

- ステップ 5** ボイスメールパイロットを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル (Cancel)] をクリックします。
- ボイスメールプロファイルがこのボイスメールパイロット番号を使用している場合は、このボイスメールパイロット番号を使用しているボイスメールプロファイルの番号を示すメッセージが表示されます。
-

追加情報

「関連項目」(P.85-5) を参照してください。

関連項目

- 「ボイスメールパイロットの設定値」(P.85-1)
- 「Cisco ボイスメールパイロットの検索」(P.85-3)
- 「ボイスメールパイロット番号の設定」(P.85-4)
- 「ボイスメールパイロット番号の削除」(P.85-4)
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」
- 「メッセージ受信の設定」(P.84-1)
- 「ボイスメールプロファイルの設定」(P.86-1)

